

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	SORATO (UMIE) てんり ※UMIEてんり			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		~	2024年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		~	2024年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>小学1年生～3年生の低学年の児童を対象にしていることから、発達的に大事にしたいところ、丁寧に寄り添いたいポイントが利用児童同士で近いこと、活動の設定を児童のニーズに合わせて行いやすい点が強みと考えます。設定した活動が児童のニーズを一致しているため、より集団で活動しやすく、満足感を得て帰っていく子どもが多くなります。</p>	<p>工夫している点は、小学低学年の子どもたちの放課後の時間が児童の生活の中でどういった意味を持つ時間なのかを意識しながら、活動の設定や児童への言葉かけを考えている点かと思えます。</p>	<p>思春期に入る手前の児童にとって放課後が、豊かな時間になり、「今日もいい一日だった」と感じながら帰宅できるようにしたいと思っています。集団の中でどういった自分でいたいと思っているのか、どんなことに手ごたえを感じるのか、児童一人一人のアセスメントとそれに合う活動の工夫のきめ細やかさをより強化したいと思っています。</p>
2	/	/	/

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	弱みとしては、コンセプトの周知かと思います。送迎を行うことで、保護者とのコミュニケーションが取りにくいいため、丁寧な報告がしきれていないように思います。そのため、アンケートの中でも「活動の種類が少ない」などのご意見もいただきました。	UMIEてんりとしては、大切にしたいことは強みのところで記載した点になります。勉強をプラスで教えたり、行事ごとを大きく行ったりするのではなく、いつ来ても同じ、いつ来ても安心を大切にしたいと考えております。子どもたちの姿に合わせて、意図的に毎週同じ活動を設定しているグループもございませう。	児童の生活全体を視野に入れること、また大人が子どもたちにどうしてほしいかではなく、子ども自身が今どんな自分で過ごしたいと思っているかを見失わないように、活動やコミュニケーションの部分大切にしています。そうしたコンセプトを、見学時や保護者の方とのコミュニケーション、また地域への発信の際に、丁寧に説明していきたいと考えております。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

SORATO (UMIE) てんり ※UMIEてんり

公表日 令和6年12月27日

利用児童数 44

回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87% (26人)	10% (3人)	0	3% (1人)	・子どもが過ごしている様子を見る機会がないので答えられませんが、不安に感じることはありません。	・見学時に実際に子どもが過ごしている様子を見てもらえるようにしている。 今後も見学時に丁寧に説明を行い、安心していただけるようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	77% (23人)	7% (2人)	0	16% (5人)	・その日の利用人数がはっきり分からない。	・見学時や契約時に一日の利用人数を伝えるようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	80% (24人)	10% (3人)	0	10% (3人)	・ご意見なし	・玄関マットを引いたり、腰掛を置くなど、フラットになっている分、視覚的にわかりやすく工夫しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93% (28人)	0	0	7% (2人)	・ご意見なし	・濡れる活動がある際には足や手ふき用などのタオルを用意している。 事前に床拭き用のタオルも用意しておく。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90% (27人)	7% (2人)	0	3% (1人)	・責任者の先生以外の先生との接し方があまり分からずです。	・送迎時に現場の職員とコミュニケーションを図るようにしている。保護者の方に安心していただけるよう短い時間でも子どもの姿を共有したり、コミュニケーションを図ったりするようにしていきたい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	87% (26人)	3% (1人)	0	10% (3人)	・ご意見なし	・公表している支援プログラムに沿った支援を実施しておりますが、個々に応じた支援も臨機応変に行っております。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	97% (29人)	3% (1人)	0	0	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	84% (25人)	3% (1人)	0	13% (4人)	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	90% (27人)	3% (1人)	0	7% (2人)	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	83% (25人)	7% (2人)	0	10% (3人)	・毎週の活動の中で新しい取り組みが毎回あるわけではない？あれば報告してくださいと思うので、やや少な目な印象。	・子どもの生活保障を目的とするため、毎週新しい活動を取り入れてはいない。しかし、活動内容が固定化しないよう子どもの姿に応じて活動内容やグループ編成を変えている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24% (7人)	16% (5人)	13% (4人)	47% (14人)	・ご意見なし	・公園など地域の場遊びに行くことがあり、その際に地域の子と関わる機会になっている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (30人)	0	0	0	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (30人)	0	0	0	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33% (10人)	20% (6人)	10% (3人)	37% (11人)	・ご意見なし	・保護者様も参加できる講演会等を計画しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	87% (26人)	13% (4人)	0	0	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。

保護者への説明等

16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	73% (22人)	20% (6人)	0	7% (2人)	・まだ利用し始めのため分からない。	・現状を継続できるように努めたいと思います。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	97% (29人)	3% (1人)	0	0	・ご意見なし	・現状を継続できるように努めたいと思います。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13% (4人)	20% (6人)	27% (8人)	40% (12人)	・保護者同士は難しくても兄弟が関わる機会があると、兄弟たちが世の中にはいろんな子がいると知るチャンスになると思う。知ることによって自分のできることを学んでもらいたい。	・保護者も参加できる講演会等を計画している。 今後きょうだい児も対象に含んだイベントなどを計画していきたい。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80% (24人)	3% (1人)	0	7% (2人)	未回答 3	・見学・契約時や普段の利用時に相談の場の機会等があることを今後も伝え、保護者が快く利用できるようにしていく。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	83% (25人)	3% (1人)	0	0	未回答 4	お子様には視覚支援などを行い出来るだけわかりやすくし、保護者様には連絡帳やメール、またはインスタグラムを活用しお伝えしています。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	73% (22人)	7% (2人)	3% (1人)	7% (2人)	未回答 3	連絡帳とインスタグラムを活用し、お伝えしています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	87% (26人)	0	0	3% (1人)	未回答 3	鍵付きの書庫にて保管しています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47% (14人)	16% (5人)	0	27% (8人)	未回答 3 ・分からないです	毎月職員研修の中で勉強・ロールプレイングを行っており、事務所内にて掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17% (5人)	13% (4人)	0	60% (18人)	・未回答 3 ・分からないです ・毎週の連絡には報告がなかったような気がする。	・今年度は避難訓練を職員のみで行ったので、次年度はお子様にも参加して頂ける訓練を検討していきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	57% (17人)	13% (4人)	0	20% (6人)	未回答 3	見学の際に実際に見て頂きながら説明を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70% (21人)	13% (4人)	0	7% (2人)	未回答 3	事故の無いように努めていますが、あった際にはマニュアル通りに状況確認後、すぐに保護者様へ連絡を取るようしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	90% (27人)	0	0	0	未回答 3	子どもとの信頼関係を大切に支援を行っていますので、今後も継続していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87% (26人)	3% (1人)	0	0	未回答 3	常に楽しみに思ってもらえるよう、活動内容に工夫を持たせていきたいと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	87% (26人)	3% (1人)	0	0	未回答 3 ・いつもありがとうございます！	保護者様のご意見を有難く頂戴しつつも、現状に満足せずこれからもより高みを目指していきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

公表日 令和6年12月27日

事業所名		SORATO (UMIE) てんり ※UMIEてんり				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80% (4人)	20% (1人)	・基準以上のスペースを確保できるようにしています。	・現状維持していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80% (4人)	20% (1人)	・基準以上の職員を配置できるようにしています。	・現状維持していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100% (5人)		・子どもの特性に応じて危険が見られる部分に関して適宜設備を移動し整備しています。	・現状維持していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (5人)		・毎日の清掃・消毒を行い、備品も視覚支援を利用し、必要な時はわかりやすく、不必要な時は見えなくしています。	・長期休暇中、SORATOとUMIEが被ると手狭に感じることはあるが、活動を工夫していきたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (5人)		・お子様の様子や活動に応じて、場所の使い分けや室内の明るさの調整、視覚的な配慮も行っています。	・現状維持していきます。
※	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (5人)		・毎日の振り返りと事前ミーティングで全員で話し合っています。	・現状維持していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80% (4人)	20% (1人)	・今年から取り組む予定です。	・今年が初めての実施になるので、保護者様からのご意見を参考に、業務改善に繋げていきたいと思います。

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (5人)		・月1回の会議を設けるようにしてから、より意見を聞きやすい状態になってきた。	・現状維持していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100% (5人)	・現在は行っていません。	・現状として第三者による外部評価を取り入れる予定はありませんが、今後必要であれば検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (5人)		・毎月の事業所内研修に加えて、年間の予算内で外部への研修に参加できる機会を適宜設定しています。	・現状維持していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (5人)		・ホームページ上に5領域に関する支援プログラムを公表し、その内容に沿った支援を実施しています。	・現状維持していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100% (5人)		・細やかな聞き取りを行いその内容を職員間で共有した上で作成を行っています。	・現状維持していきます。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (5人)		同上	・現状維持していきます。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% (5人)		同上	・現状維持していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (5人)		・事業所等で様子を伺いながら、ご家庭での習い事の負担等ある場合は、保護者様に相談し、調整を考えて貰うよう提案しています。	・現状維持していきます。

適切な支援の提供

16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (5人)		・お子様やご家族様が生活において必要となる支援を、項目ごとに設定しています。	・計画書関係の書類では、内容について、出来るだけ分かりやすく端的にまとめられるようにしていきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (5人)		・各グループにリーダーをがおり、リーダーが考えた活動をミーティングで案出して練っている。	・現状維持していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80% (4人)	20% (1人)	・子どもたちの様子に合わせてプログラムが設定させている。	・現状維持していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100% (5人)		・計画書に基づきながら、発達状況に応じて行っています。	・現状維持していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% (5人)		・支援の開始前にだけでなく、終了後にも次回の支援についての話し合いを行っています。	・現状維持していきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (5人)		・実施しています。	・現状維持していきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (5人)		・連絡帳・ケース記録・ヒヤリハットなどを活用しています。	・現状維持していきます。

23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (5人)		・実施しています。	・現状維持していきます。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100% (5人)		・実施しています。	・現状維持していきます。
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (5人)		・集団療育では、自分で決めた難易度や役割に取り組めるよう、意思決定できる場を設定している。	・自主的行動は重要な考えとなりますので、今後も継続していきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (5人)		・児童発達支援管理責任者が主となって出席できるようにしています。	・現状維持していきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (5人)		・学校などを中心に、積極的に連携を取るようにしています。	・現状維持していきます。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60% (3人)	40% (2人)	・定期的に助言を受けられる機会を設定しています。	・職員間への周知が不足していますので、再度周知できるようにしていきます。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40% (2人)	60% (3人)	・現状としてはニーズが少なく、実施は難しいと考えています。	・必要に応じて実施を検討していきたいと思っています。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (5人)		・ご利用後は、その日の状況などを口頭にてお伝えしながら、連絡票も活用しています。	・現状維持していきます。

関係機関や保護者との連携

31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40% (2人)	60% (3人)	・保護者向けの研修会の実施をしています。	・機会は少ないが、日程を調整しながら学習会なども行っていききたいと思います。
32	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
34	【 <u>児発センターのみ</u> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【 <u>児発センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100% (5人)		・職員間で下校時間などで不安を感じた時は、保護者様や学校に問い合わせを行い、送迎に対するリスクを最小限にできるよう、工夫しています。	・現状維持していきます。
38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100% (5人)		・児童発達支援事業所と併設しているので、UMIEてんりに移行の場合は早急に連絡を取っています。	・現状維持していきます。

	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60% (3人)	40% (2人)	・現状として、対象児童が存在しておりません。	・今後、そういった機会があった場合は協力できるようにしていきたいと思います。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	40% (2人)	60% (3人)	・事業所内で勤務時間等の調整は可能な為、なるべく参加できるよう調整していきます。	・現状維持していきます。
保 護 者	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (5人)		・利用契約時は現状として基本的には書面でのやり取りにはなるが、内容は丁寧に説明しています。支援プログラムはパソコンを用いてホームページに掲載しているものを見せながら説明をしています。	・現状維持していきます。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (5人)		・可能な限り相談支援員や、現場の職員からの意見を聞き、計画書等の作成を行うようにしています。	・現状維持していきます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (5人)		・計画書を更新する前に、保護者様と新たな目標や現時点の課題をお伝えしながら、目標の設定を行っています。	・現状維持していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (5人)		・送迎時に今日の様子をお伝える他に、困り事や気になる事が無いかを確認し、助言できるポイントは説明しています。	・現状維持していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20% (1人)	80% (4人)	・保護者向けの研修会の開催を通して、相談できる環境を設定しています。	・現状維持していきます。

への説明等

46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (5人)		・質問や苦情事に対しては、報告があったその日に職員間でミーティングを行い、問題解決の場を開き、対応を行っています。	・現状維持していきます。
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100% (5人)		・主にInstagramを活用しています。	・現状維持していきます。
48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (5人)		・個人情報等の書類関係はデスクに放置せず、鍵付きの書庫にて保管し、USBの持ち出しもしないように配慮しています。	・現状維持していきます。
49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (5人)		・メイプル日誌Ⅲによるスマートフォンを用いた連絡ノートでのやり取りをだけでなく、メール、電話など、保護者様にとって利便性の高い方法で、情報共有出来るよう取り組んでいます。	・現状維持していきます。
50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100% (5人)		・保護者様向けの研修会などを通じて、地域の方にもご参加頂けるようにしています。	・現状維持していきます。
51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (5人)		・家族支援加算Ⅰなどの機会を適宜設定し、要望があればその都度面談等を実施できるようにしています。実施後はその内容や結果について記録を作成し、職員間で共有できるようにしています。	・現状維持していきます。
52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (5人)		・各マニュアルは作成後ファイリングし職員がいつでも確認できるよう準備しています。	・現状維持していきます。
53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (5人)		・消火訓練、通報訓練、避難訓練を一連の流れで実施しています。	・現状維持していきます。

非常時等の対応

54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (5人)		・事業所の見学をされる際に、相談受付表を準備し、その書類に該当する項目がある場合は記入してもらっています。契約前には、相談受付表での記載事項を基にアセスメントを作成し、職員間でも情報共有しています。	・現状維持していきます。
55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80% (4人)	20% (1人)	・対応を取っています。おやつを提供に関しても、アレルギー対象のお子様のリストを作成し、アレルギーの無いおやつを提供するようにしています。	・現状維持していきます。
56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (5人)		・併設している事業所内で主催する事業所を持ち回り担当しながら、避難訓練等を実施しています。	・現状維持していきます。
57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100% (5人)		・個別支援計画に緊急時の避難場所等を示す文言を書き加えてお知らせしています。	・現状維持していきます。
58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (5人)		・ヒヤリハット、事故報告書、苦情内容等につきましては、障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」にて記録し、電子で保管しています。	・現状維持していきます。
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (5人)		・虐待防止委員会を法人内で設置しているが、加えて年間研修の一環として虐待研修の時間を設定しています。	・現状維持していきます。
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (5人)		・現状として、身体拘束が必要となるケースは無いが、もしそういったケースが起こり得る場合は、計画に盛り込んでいきますが、まずは身体拘束をしなくても良い方法や環境設定を模索していきます。	・現状維持していきます。